

調査解析 1

水深別水質調査と新指標（底層DO）のモニタリング・評価手法の構築

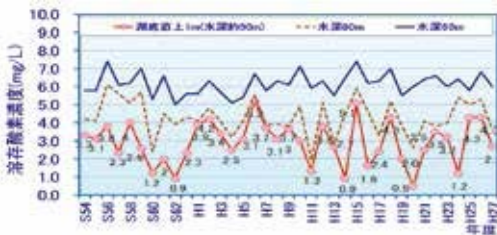
琵琶湖水質の長期変動や水環境の変化に対する水質面からの関連性を把握するため、水深別水質調査を実施します。また、国において底層溶存酸素（底層 DO）の環境基準値が設定されたことから、底層 DO の実態・変動要因を考慮した効率的なモニタリング手法の確立や評価手法を構築します。

<サブテーマ>

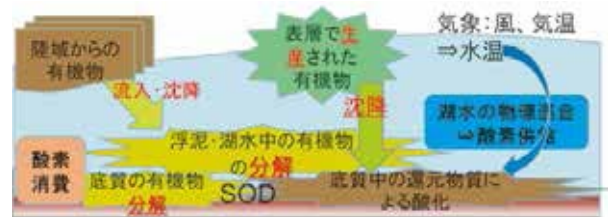
- ・水質の鉛直分布とその長期データ蓄積、長期および季節変動の状況把握
- ・底層 DO の面的な状況把握と効果的なモニタリングと評価手法の構築

【現状における課題】

(近年の低酸素化状況)



(底層DO値のみでは、数値変動の要因が不明確)



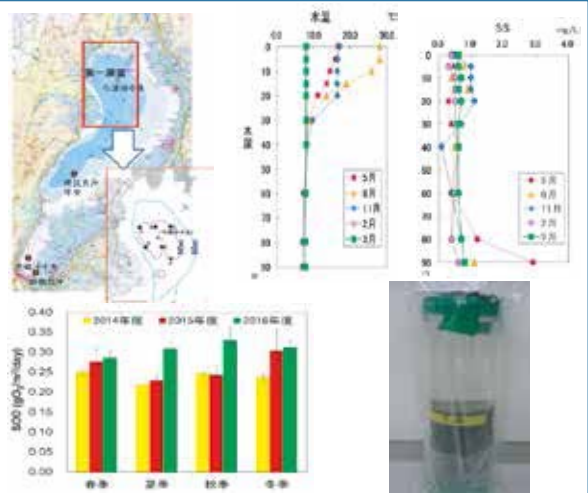
【課題解決に向けた対応】

1 水深別の水質を調査し、琵琶湖水質の鉛直分布を継続的に監視

- 水深別水質の継続的な監視
- 琵琶湖水質の長期変動や種々の水環境の変化に対する水質面からの関連性を把握

2 底層DOのモニタリング・評価手法の構築

- 底層でのDOが低下しやすい北湖の第一湖盆におけるDOや水温の鉛直分布を継続して把握
- 底質の酸素消費量 (SOD)等の詳細把握調査



○環境基準に追加された底層DOの琵琶湖における効果的な評価・モニタリング方法を提示